

規制改革推進会議（第24回）終了後記者会見 議事録

1. 日 時：令和7年10月3日（金）11時15分～11時25分

2. 場 所：合同庁舎8号館1階S108会見室

3. 出席者：

（委 員）富田哲郎議長

○事務局 それでは、第24回規制改革推進会議の事後ブリーフィングを始めさせていただきますと思います。

富田議長、よろしくお願いいたします。

○富田議長 では、最初に私から発言させていただきます。

本日、石破総理、平大臣に御出席いただきまして、第24回規制改革推進会議を開催いたしました。

今日の会議では、規制・制度改革の更なる発展・深化について議論を行い、委員の皆様方からは大変活発な各論点にわたる意見が出されました。

平規制改革担当大臣からは、規制・制度は地域の人々や企業の活動の前提となるものであり、時代や環境の変化、テクノロジーの進化といったものに合わせてレギュレーションのデザインは平仄を合わせていくということの必要性について、御指摘がありました。そうした意味で、デジタルやAIなどのテクノロジーが大きく変化する中、利用者の目線を徹底した真に必要な改革を、スピード感を持って実行することが重要であるといった趣旨の御発言を頂きました。

それから、石破総理の御発言は、皆様にお聞きいただいたとおりです。

規制改革推進会議としましては、利用者目線、国民生活に密着し、社会・経済的に重要性が高い分野について、デジタル・AIなどのテクノロジーの社会実装や利用者目線の改革を徹底していくことが大切な課題だという認識の下、まずは、これまでに様々な議論を徹底してきた規制改革事項の具体化・前倒し・深掘りから議論を進めていきたいと思っております。

私からは以上です。

○事務局 どうもありがとうございました。

それでは、質疑に移ります。議長はこの後、御予定がございますので、11時25分目途で御退席の予定です。

まずは議長への御質問のある方がいらっしゃいましたら、挙手をお願いいたします。オ

ンラインの方もよろしくお願いいたします。いかがでしょうか。

(挙手なし)

よろしいですか。ありがとうございました。

○富田議長 どうもありがとうございました。

(以 上)